

## 1. セッション名

### OS-10 宇宙旅行 ～実現へのカウントダウン～

## 2. オーガナイザ氏名、所属、連絡先(電話番号/メールアドレス)

代表	氏名	所属	連絡先
○	高野 忠	日本大学	
	広崎 朋史	NPO 法人有人ロケット研究会	

## 3. 概要

宇宙旅行は、民間人が宇宙を旅するものであり、従ってサービス提供者やロケット・宇宙滞在施設の提供者に代金を支払うというビジネスである。1961年ガガーリンが宇宙飛行士として宇宙を飛んだ後、2001年チトーが初めての宇宙旅行者として宇宙基地に行き滞在し帰還した。その対価は23億円と高価であったが、その後6人が同じ宇宙旅行を楽しんだ。

2004年にはその費用を1/100にする宇宙旅行が、ヴァージン・ギャラクティック社により企画された。そのロケットスペースシップ2が、いよいよ推進飛行を始めた。ブルーオリジン社とスペースX社も、ロケットの垂直離着陸で再使用を成功させている。また宇宙港の整備や宇宙旅行服の検討が、進められている。

日本では旅行サービス提供に重点を置いて、需要喚起とビジネス立ち上げが行われている。有人ロケットについては、基本的な検討が始められている。政府も新しい宇宙基本計画により、宇宙ビジネスの創成を支援しようとしている。これは従来の宇宙インフラストラクチャ開発と宇宙科学に偏重した状態から、大きく転換するものである。

本OSでは、このような国際情勢と国内の動きを分析したい。宇宙旅行を観光や日本経済の中で位置づけ、マーケティング戦略を提案する。そして法律的・医学的な課題を提示する。

## 4. セッション構成、発表件数

セッション1 5件 司会：広崎 朋史 (NPO 法人有人ロケット研究会)

セッション2 5件 司会：嶋田 徹 (JAXA)

## 5. 個別発表題目と著者、所属、講演登録番号(発表順)

セッション#	著者	所属	講演登録番号
#1-1 宇宙旅行の現状と、 社会から見た宇宙旅行像 の変遷	○長谷川 敏紀 高野忠	HASECOM 日本大学	SBM000217
#1-2 宇宙旅行の安全性と その向上策	高野忠	日本大学	SBM000232
#1-3 レジリエントな宇宙 旅行のためのロケット	嶋田 徹	宇宙航空研究開発機 構	SBM000572
#1-4 若者のための宇宙旅 行の開発の教育的な価値 は、その費用より高い。	Collins Patrick	日本宇宙旅行協会	SBM000346
#1-5 サブオービタル宇宙 旅行を日本で実施する場 合の宇宙機整備について	藤野 翔太	全日本空輸株式会社	SBM000688
#2-1 スペースプレーン運 用管制システムの概念検 討	○広崎 朋史、大浦 智史、須田 恵里 香、寺尾 卓真、泉 洸次、徳田 謹夫 大貫 美鈴	宇宙システム開発株 式会社 スペースアクセス株 式会社	SBM000201
#2-2 宇宙旅行における芸 術の応用可能性	○小野綾子、尾久土 正己	和歌山大学 国際観 光学研究センター	SBM000215
#2-3 和歌山県下最大の公 開天文台“みさと天文 台”を生かした宇宙観光	山内千里 尾久土 正己	みさと天文台 和歌山大学	SBM000591
#2-4 宇宙旅行の楽しみ 「宙（そら）グルメ」の 魅力	荒井 誠	(株)電通 宇宙ラボ	SBM000018
#2-5 草の根活動の視点か ら見た日本の有人宇宙活 動への期待と危惧	斎藤 紀男	スペースゼロワン	SBM000494